

外務省だより

# 3年ぶり対面での 「学生と語る」開催

令和5年2月9日、外務省セミナー「学生と語る」が開催されました。

今年は、3年ぶりに、対面でのプログラムを実施しました（一部プログラムはオンライン配信）。

過去最大となる241名が参加しました。



学生たちに語りかける  
吉川外務大臣政務官

吉川ゆうみ外務大臣政務官は、国際社会は、法の支配に基づく国際秩序を守り抜けるかという歴史の岐路にあり、日本を取り巻く環境も厳しさや不確実性が増しているが、国際社会が困難を抱える時代においてこそ、外交の役割は高まっていくと考える旨を述べました。その後、今年5月に開催される G7 広島サミットについての基調講演、外務省員による体験談と続き、「軍縮・不拡散」、「安保理改革を含む国連機能強化」、「ASEAN と日本外交」、「人間の安全保障」という日本外交が取り組んでいる重要課題についての分科会が開かれました。それぞれのテーマについて、外務省員の講師によるプレゼンテーションと質疑応答、少人数グループでの参加者同士の活発なディスカッションとまとめの発表が行われ、最後に講師による講評がありました。

参加者からは、「このセミナーでしか聞けない貴重な話を聞くことができ、学びを深められ、とても有意義だった」、「現在の不安定な国際社会の中で、外務省員の仕事はたいへん荷が重い仕事であると思うが、省員一人一人の行動が社会を大きく変化させることにつながる、やりがいのある職業であると感じた」といった声が多く寄せられました。